

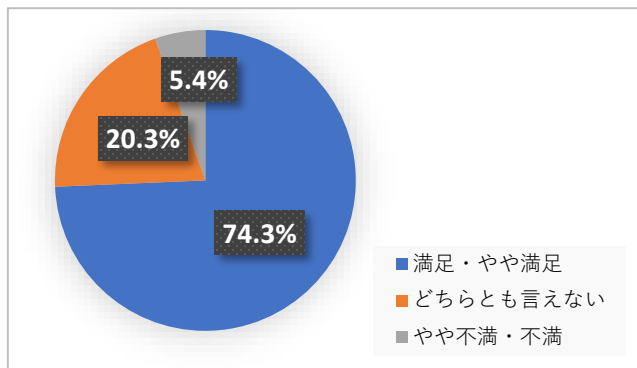
卒業生対象アンケート調査結果のご報告

愛知学院大学は、卒業後3年、5年、10年目の卒業生を対象に、2024年5月から10月の期間に「卒業生アンケート」を実施いたしました。調査の目的は、卒業生が在学中に身につけた能力と、社会で求められる知識や能力を把握することです。これにより、本学の教育成果を検証し、今後の教育活動や就職支援の充実を目指します。調査項目には、卒業生の満足度、勤務状況、大学のディプロマ・ポリシー(DP)に基づく教育理念、そして社会で活躍するために重要な能力に関する内容が含まれています。

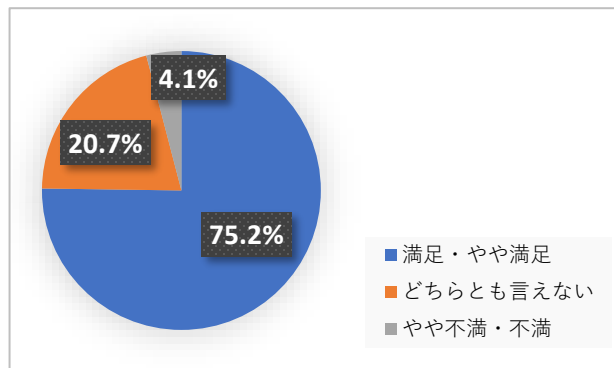
ご協力いただいた卒業生の皆様に心より感謝申し上げます。

1. 大学及び卒業学部・学科に対する満足度

大学への満足度 **74.3%**

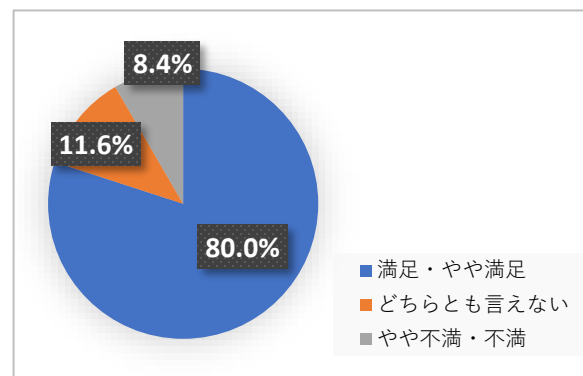


学部・学科への満足度 **75.2%**



2. 勤務先の満足度

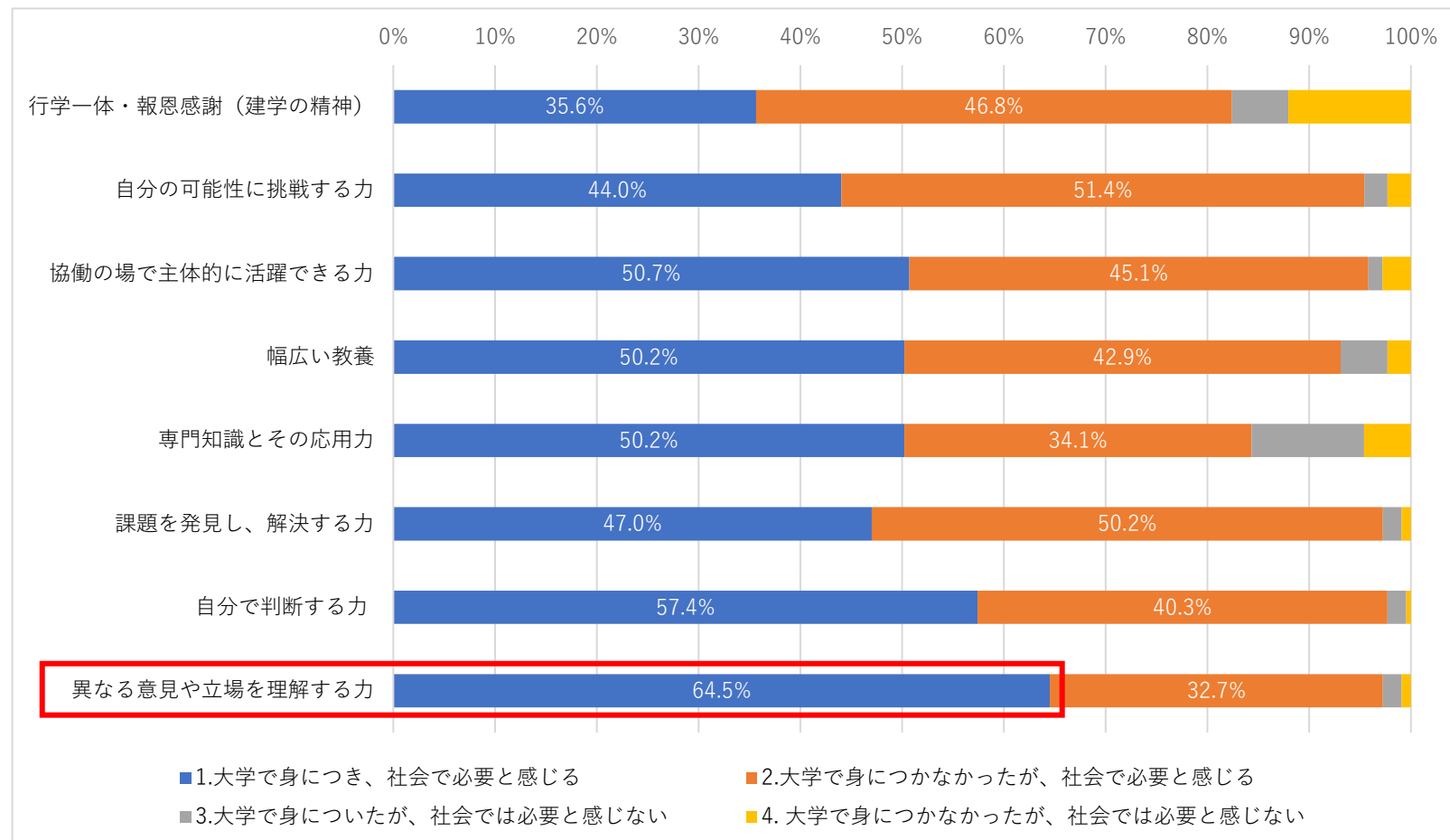
勤務先の満足度 **80%**



大学および各学部・学科への満足度が**約75%**を超える結果となりました。
さらに、**80%**の方々が現在の勤務先に対して満足していると回答されました。

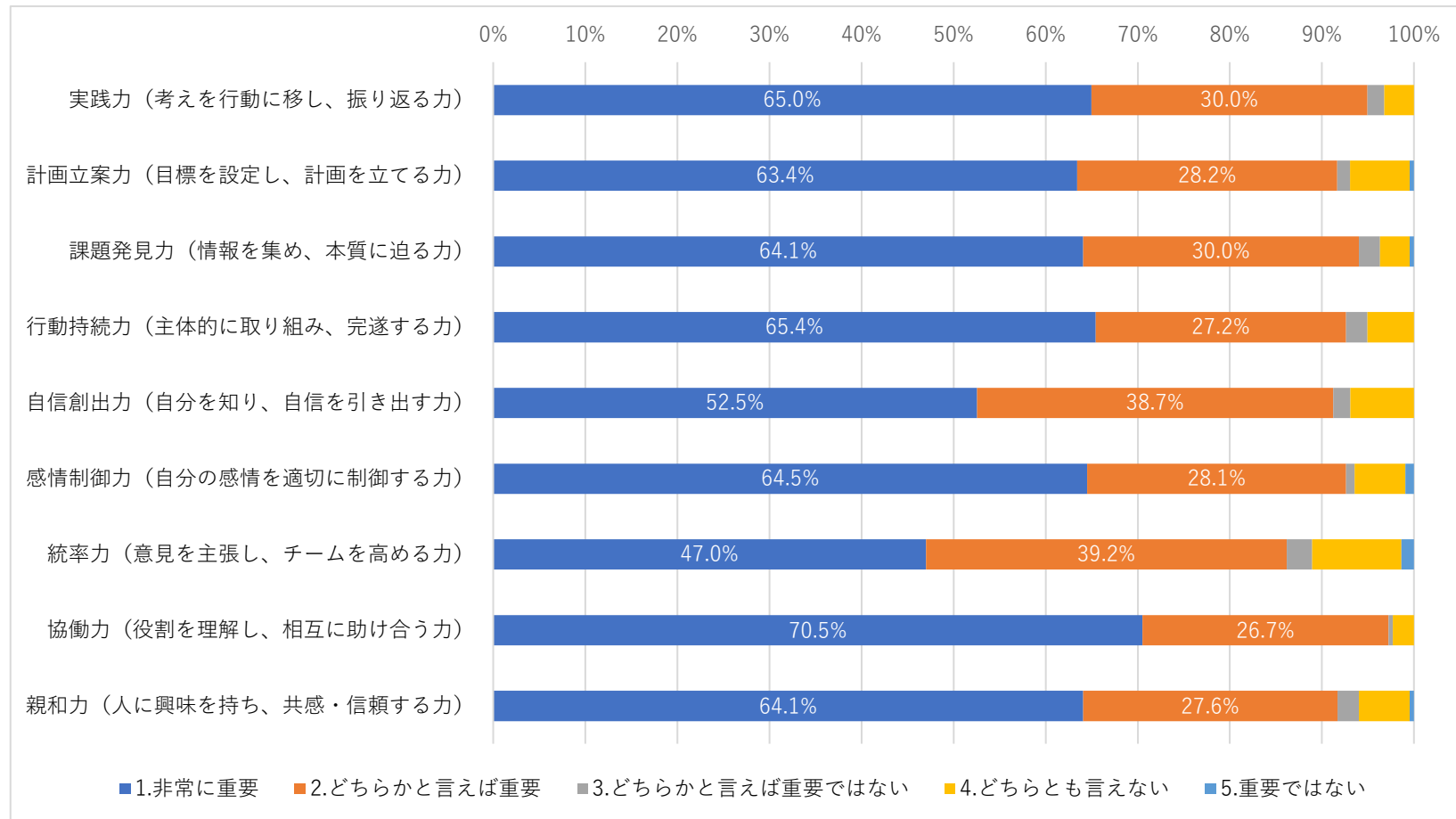
3. 本学の教育理念について

大学のディプロマ・ポリシー（DP）に基づく教育理念と、社会で必要とされる能力・スキルに関する調査で、「大学で身につけ、社会で必要と感じる」と回答した割合が最も高かったのは、「異なる意見や立場を理解する力」で、64.5%という結果でした。この結果は、多様性を尊重し、協働する力が社会で重要視されていることを示しています。



4. 社会で活躍するために重要な能力

能力開発フレームワークに基づく「対人基礎力」「対自己基礎力」「対課題基礎力」に関する調査の結果、**約90%**の回答者がこれらを「非常に重要」または「どちらかといえば重要」と評価しました。この結果を踏まえ、今後もこれらの能力をさらに強化する取り組みを推進してまいります。



5. 教育の充実に向けた提案

本学において、さらに充実が求められている教育分野として、「**コミュニケーション能力の育成**」と「**一般常識・教養教育の充実**」が高い回答率を示しました。これらの分野に注力することで、学生の社会での即戦力化を図るとともに、大学全体の教育水準の向上に繋がてまいります。

